

地域のもりから学ぶ森林づくり2013

「森林の生物多様性を学ぶ」 第一回森林教室



カタクリ



エゾエンゴサク

第1回森林教室は5月15日（水）に旧三笠山スキー場跡地で実施しました。今回の森林教室は「身近な自然を見に行こう」と題して、定山溪の身近な自然を体験することを目的に植生の観察を行う事で実施しました。具体的にはどのような種類の植生が、どの程度の数があるかを調べるために、測量器械（ポケットコンパス）を用いて調べる範囲を2カ所（25m×25m）とりました。次に1m四方の枠を使用して調べる範囲の中で植生を一つ一つ調べていきます。結果は1m四方枠、25枠（25㎡）をとることが出来ました。植生の数の結果は上の表の通りです。今回はカタクリが432個、エゾエンゴサク682個で全体の85%を占めていました。これを25m×25m範囲の2カ所（1,250㎡）に置き換えるとカタクリだけでも21,600本があることがわかります。



今回は三笠山スキー場跡地を調べてみましたが、定山溪の街の周辺にはこの他にも豊かな自然がいっぱいあります。是非色々な場所を探してみましょ。

今後の日程

〇6月28日（金）

理科・社会合同フィールドワーク

防災ダム・防災林見学外

〇7月12日（金）

第2回森林教室

森林の移り変わりを見てみよう

